

# 平成29年度 施策評価表

課・グループ名	産業振興課農政グループ
---------	-------------

作成年月日：平成30年 9月28日

施策名	2 - (1) - ① 収益性の高い農業の確立		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	2. 地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまちづくり	(1) 地場の交流を通した顔の見える農業・農村環境づくり	①収益性の高い農業の確立
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売れる米づくりに向けた良質・良食味米の安定生産や新しい技術の導入を推進します。また、輪作体系の確立に向けた取り組み、収益性の高い野菜などの作物の導入を推進し、農業経営の安定化を図ります。</li> <li>● 土地利用型の農業を確立していくために必要な基盤整備等を計画的に行い、生産基盤の強化を図ります。</li> <li>● 全町をカバーしているRTK基地局の活用により、GPS機器の精度を高め、作業時間の短縮や生産コストの削減など、大幅な効率化を図ります。</li> </ul>		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成28年度の農家戸数は177戸（農家人口797人）で、そのうち農地所有適格法人（以下、農業生産法人）は15経営体（複数戸法人11：個人法人4）となっており、大規模化が進む一方、小規模農家の離農により農家戸数は依然減少が続いています。</li> <li>● 本町農業は、強靱な農業基盤の構築を目指し、これまで土地改良事業を強力に推進してきたことにより安定した生産性を実現しています。</li> <li>● 農業を取り巻く情勢は、TPP（環太平洋経済連携協定）交渉の大筋合意や平成30年の生産調整廃止など、大きな岐路に立たされています。</li> <li>● 本町では、担い手の経営規模拡大の意向に対応するため、引き続き土地改良事業を継続するとともに、ICT（情報通信技術）を活用した農作業の効率化を図るなど、更なる生産性の向上と農業経営の発展に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産者の土地利用型農業への志向が強く、近年では本町が生産を奨励しているキャベツの作付が減少しているため、水稻・小麦・大豆との生産のバランスをとる必要があります。</li> <li>● 農作物の生産性・品質の向上による安定的な農業経営の確立を図るためには、計画的に区画整備などの基盤整備を行う必要があります。</li> <li>● 農家戸数が減少する中で、将来的に農地を維持し耕作放棄地の発生を抑制していくには、農地中間管理機構の活用も視野に入れ対策を検討していく必要があります。</li> <li>● 町内で稼働している農産施設の老朽化対策や作付が増えている大豆の調製施設の建設に向け、生産者及び農業団体と協議していく必要があります。</li> <li>● スマート農業の普及促進に向けて、すべての生産者に対し導入効果をあらゆる機会に周知し、理解を求めていく必要があります。</li> </ul>	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況									
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化			
	町の基幹産業である農業の振興発展と将来に向けて持続可能な農業を目指すため、その担い手である農家戸数を成果指標として設定しています。		成果指標（総合計画・施策評価）			○	可能		
			農家戸数				不可能		
			代替指標 ※成果指標がない場合				未計測		
							指標の設定		
					可能	不可能			
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。									
②指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由		
		H26	H27	H28	H29	H33			
目標	戸			175	170	152			
実績	戸		179	175	173				
達成率	%			100.0	101.8				
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点			
③施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移（目標達成は十分に可能である）				施策の達成度	B	農家戸数の減少は避けられない状況ですが、農業基盤整備事業の継続実施により生産性の高い農業が実現するとともに、規模拡大が進んでいます。また、スマート農業の推進により、効率の高い作業が行われ、大規模圃場での作業に大きな効果を上げています。	
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移（目標達成は可能である）							
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている（目標達成が遅れる可能性がある）				B			将来に向けて持続可能な農業の構築を図るため、農業基盤整備事業を強く推し進めるとともに、重点施策事業に対する農業振興補助金の活用やスマート農業の更なる普及促進等に取り組めます。
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている（目標達成は難しい）							

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

#### ①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H29実績	H30予算	
					実績								
1	農業振興補助金交付事業	(1)	産業振興課	事業項目数 (事業内容に掲載)	5	項目	本町の農業振興を図るため、南幌町農業協同組合が実施する農業振興事業のうち、南幌町農業振興補助金交付要綱に基づく次の事業に対し補助金を交付する。なお、交付にあたり、町、農協で協議し対象事業のうち重点的項目とした取り組みへの充当を優先する。 ◎野菜価格安定基金への助成 ◎担い手・後継者対策 ◎農産物消費拡大 ◎特産品奨励推進 ◎食育推進事業	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	4,000	高い	
					4	項目					4,000		
2	道営経営体育成基盤整備事業	(1)	産業振興課	地区進捗率 ③鶴沼地区 ⑥鶴城地区 ⑧暁地区	③98	%	・幹線排水路の整備 ・区画整理の計画樹立、変更	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	2,891	高い	
					③98	%					9,026		
3	農業経営高度化促進事業	(1)	産業振興課	地区進捗率 ①晩翠地区 ②清幌地区 ③鶴沼地区 ④西幌地区 ⑤三重地区 ⑥鶴城一期地区 ⑦鶴城二期地区 ⑧暁地区	①100 ②98 ③76 ④39 ⑤5 ⑥4	%	・農地、農業水利施設の整備が促進されるよう、農地パワーアップ事業を実施して農家負担の軽減を図る。 ・円滑に工事が実施できるよう、休耕で発生する所得損失に促進費を交付して、通年施行の実施を図る。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	219,933	高い	
					①100 ②92 ③75 ④30 ⑤16 ⑥3	%					304,748		
4	スマート農業推進事業	(1)	産業振興課	RTK-GPS 利用者延べ人数	15	人	RTK基地局を設置し、運用する。	Ⅱ	Ⅱ	1 現状のまま継続	147	高い	
					1	人					200		

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H29事業費 226,971

H30予算 317,974

②H30に実施した新規事務事業					
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容		H30予算(千円)

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	農業基盤整備は、暗渠排水等の整備により透排水の向上を図り、低温・多雨などの気象条件による農作物等への影響を抑える効果があるとともに、農作業の効率化を図り、安定的で生産性の高い農業の実現には不可欠であるため、今後も継続して実施していきます。 農業振興補助金は、平成30年度から主要作物である水稲作付面積の維持を図るため特に重要と考えられる重点施策事業に補助金を交付するよう平成29年度で見直しを行いました。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	B	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性		※外部評価 (行政評価委員会)							
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性  優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成30年度以降 の予算の方向性	
			A						
			B	1	2	3			拡大
			C	4					○ 維持
		D					縮小		